

1. 現状と課題

県の自転車活用推進計画、アンケート及び関係者へのヒアリング結果を基に、以下の4つの観点で現状と課題の分析を行いました。

<都市環境>

- （1）**自転車通行空間の整備不足**…自転車専用道、通行帯の整備が不十分
- （2）**自転車利用環境の整備不足**…サイクリスト用駐車場、サイクルラックなどの整備が不十分
- （3）**まちづくりとの連携不足**…自転車活用の観点を取り入れたまちづくり施策が不十分

<健康増進>

- （1）**自転車利用率の低さ**…日常移動手段の9割が自動車
- （2）**サイクリングに対する健康意識不足**…健康づくりにサイクリングを取入れる割合約9%
- （3）**サイクルスポーツへの理解度不足**…自転車関連の取組が市民に浸透していない

<観光振興>

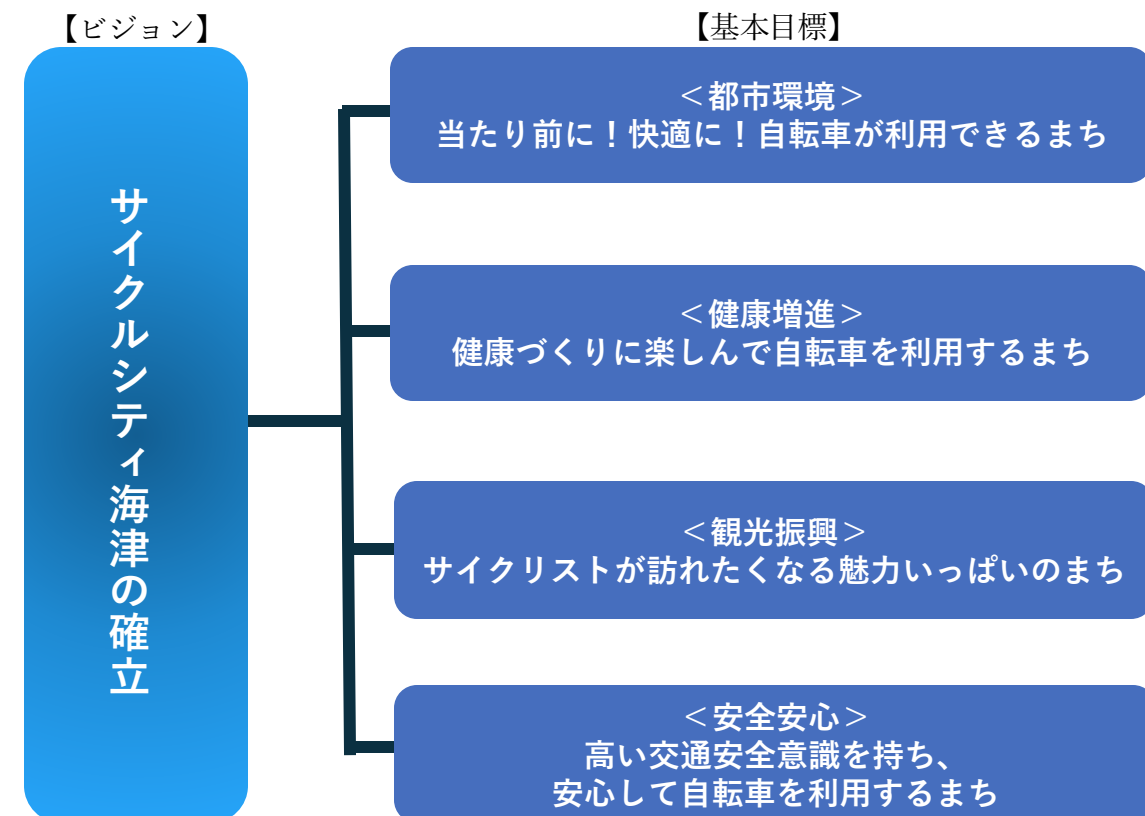
- （1）**サイクリングコースの整備不足**…サイクリスト向けのコース設定なし
- （2）**サイクリストへの情報発信不足**…サイクリスト向けの情報発信ツールが不十分
- （3）**自転車関連イベントの不足**…サイクルツーリズムを推進するイベントが不足

<安全安心>

- （1）**自転車利用時の安全意識不足**…整備率、ヘルメット着用率の低さなど
- （2）**自転車保険の加入率の低さ**…義務化された地域と比べ、保険加入率が低水準
- （3）**学校における安全教育の必要性**…2校の小学校において自転車通学の児童がいること

2. ビジョンと基本目標

現状と課題の分析を踏まえ、以下の通り、ビジョンと基本目標を定めました。



3. 施策の方向

以下項目に関し施策の方向を定めました。

<都市環境>

当たり前！快適に！自転車が利用できるまち

（1）安全な自転車通行空間の整備

安全な走行環境を確保するため、自転車専用道路や自転車通行帯などを整備します。

（2）快適な自転車利用環境の整備

快適な自転車環境を整備するため、サイクリスト用駐車場(車で来訪する自転車利用者用)やサイクルラック、休憩スペース、ウォータースポットなどを整備します。

（3）まちづくりとの連携した自転車施策の推進

まちづくりと連携した自転車通行空間の整備を推進するため、総合計画等のまちづくり計画との整合性を図るとともに、自転車ネットワーク計画を策定します。

<健康増進>

健康づくりに楽しんで自転車を利用するまち

（1）自転車利用の日常化

健康づくりの推進のため、通勤・通学や買い物など、日常生活のあらゆる場面で自転車を選ばれる環境を整備します。

（2）自転車を活用した健康づくりの促進

市民の健康に対する意識を高めるため、SNSや動画等あらゆる媒体を活用し、自転車運動の効果を広く周知します。

（3）サイクルスポーツの普及

幅広い年齢層におけるサイクルスポーツの普及を図るため、ロードバイクだけでなく、シティサイクルでも楽しめるイベントやコースを開発します。

<観光振興>

サイクリストが訪れたい魅力いっぱいのまち

（1）魅力的なサイクリングコースの整備

本市の自然景観や歴史文化を活かしたサイクルツーリズムを推進するため、魅力いっぱいのサイクリングコースを設定します。

（2）サイクリストへの情報発信の強化

サイクリストの誘致を図るため、サイクリングコースや、サイクルラック、サイクリスト向けの飲食店などの情報をマップやSNSなどで発信します。

（3）サイクリングイベントの開催

地域全体の活性化を図るため、誰もがサイクリングイベントを開催できるように支援します。

<安全安心>

高い交通安全意識を持ち、安心して自転車を利用するまち

（1）自転車の安全利用の促進

市民の安全利用を促進するため、自転車の通行ルールの徹底、整備促進やヘルメット着用など、市民の安全利用意識の向上に資する啓発活動を行います。

（2）自転車保険の加入促進

加入促進を図るため、広報誌などを活用し、保険加入のメリットなどを周知します。

（3）学校における交通安全教育の推進

子どもたちが安全に自転車を利用できるまちを目指すため、小中学校における交通安全教室の開催、通学路周辺の安全点検などを実施します。